

新工場稼働に伴って協定書を結びました

クリーンセンターは、周辺地域住民の安全と権利を守るために「クリーンセンター操業に関する協定書」を周辺3団体と結び、これに基づいて稼働しています。工場が新しくなり、設備や規模、排ガス基準などを改める必要があります。また、周辺地域やごみ処理をめぐる状況も変わってきており、運営協議会では時間をかけて内容を再検討してきました。協定の主旨は変わりませんが、現状に合わせ未来を見据えて全体を整理し、正式に協定書を結びました。

処理能力や排ガス基準などの他で主な変更点は、

①構成団体について

市2名と周辺3団体(緑町三丁目町会3名・北町五丁目町会3名・武蔵野緑町二丁目三番地域住民協議会3名)→市2名と周辺3地域4団体(緑町三丁目町会3名・北町五丁目町会3名・武蔵野緑町パークタウン自治会2名・都営武蔵野緑町二丁目第2アパート1名)

武蔵野緑町団地が建て替えに伴い、都営住宅を併設したため1団体を結成し参加してきましたが、協議して一緒に活動することが難しいため、人数は今までと同じにして3地域4団体と改めました。

②ごみ処理相互支援とごみ処理広域支援について

現在、施設の設備点検や設備の故障などで、ごみ処理ができなくなった場合に対応するため、「ふじみ衛生組合」「小金井市」と相互支援の協定を締結しています。また、多摩地域全体でごみ処理広域支援協定を締結しており、長期的な施設停止となった場合、市町村等で長期的な支援を行っていきます。これまでの協定にはこの項目がなかったので追加をしました。

パートナーシップを育て未来につなげたい

運営協議会会長 木村 文

運営協議会委員になりたての頃、会議では専門用語が飛び交い、わからないことばかりでとまどいました。それでも、広報紙づくりやイベントに関わることで学びました。クリーンセンターの職員のみなさんのご苦労も知りました。

地域住民団体の代表の一人として、市とパートナーシップを育てていきたいと思っています。クリーンセンターの工事はまだ続きます。次世代につなげていけるような活動をしていきたいと思っています。

編集後記

今号は発行が遅れてしまい申し訳ありません。新しい工場棟になってから、さまざまイベントが毎月のように行われ、多く来訪者があります。開かれた施設として、ごみ処理を見学して、一人ひとりがごみから暮らしに向き合い、集える場になるといいですね。(木村 文)

平成29年度 運営協議会委員

| | |
|-------|------------------------|
| 会 長 | 木村 文 (武蔵野緑町パークタウン自治会) |
| 副 会 長 | 狩野耕一郎 (緑町三丁目町会) |
| 会 計 | 高橋 豊 (北町五丁目町会) |
| | 千綿 澄子 (武蔵野緑町二丁目第2アパート) |
| 会計監査 | 藻谷 征子 (緑町三丁目町会) |
| | 島森 和子 (北町五丁目町会) |
| | 早川 峻 (北町五丁目町会) |
| | 和田善一郎 (緑町三丁目町会) |
| | 興梠 信子 (武蔵野緑町パークタウン自治会) |
| | 木村 浩 (環境部参事) |
| | 和地 稔 (クリーンセンター所長) |

●平成28年度 運営協議会 決算

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------|------------|-----|------------|
| 市補助金 | 1,000,000円 | 事務費 | 4,860円 |
| その他の収入 | 38,502円 | 広報費 | 471,320円 |
| 前年度繰越金 | 93,501円 | 事業費 | 469,237円 |
| | | 会議費 | 0円 |
| | | 備品費 | 178,200円 |
| | | 交際費 | 0円 |
| | | 予備費 | 0円 |
| 計 | 1,132,003円 | 計 | 1,123,617円 |
| 次年度繰越金 | | | 8,386円 |

●平成29年度 運営協議会 予算

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------|------------|-----|------------|
| 市補助金 | 1,000,000円 | 事務費 | 10,000円 |
| その他の収入 | 60,000円 | 広報費 | 370,320円 |
| 前年度繰越金 | 8,386円 | 事業費 | 640,000円 |
| | | 会議費 | 5,000円 |
| | | 備品費 | 38,066円 |
| | | 交際費 | 5,000円 |
| | | 予備費 | 0円 |
| 計 | 1,068,386円 | 計 | 1,068,386円 |

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5
武蔵野クリーンセンター内
電話：0422-54-1221
●武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

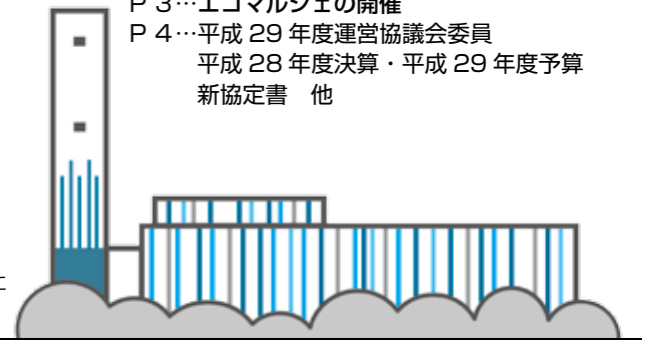
*この広報は、再生紙を使用しています。

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 67

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺3地域4団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

CONTENTS

- P1…新しいクリーンセンターに行ってみませんか
- P2…ごみ処理だけじゃない新しいクリーンセンター
- P3…エコマルシェの開催
- P4…平成29年度運営協議会委員
平成28年度決算・平成29年度予算
新協定書 他



中央通りの桜も咲き始めた4月1日(土)、新工場棟の落成式が行われ、クリーンセンター建て替えにあたってお世話になった方々、市内在住の歴代の委員を含む周辺地域の運営協議会委員、事業者の荏原環境プラントと鹿島建設の関係者、クリーンセンターや市の職員などが参加しました。

邑上市市長、荏原環境プラントの代表、運営協議会会長が挨拶し、テープカットを行いました。新しい工場の見学用スライドを見たあと、見学コースを全員で回りました。

約30年前、クリーンセンター建設時から、ごみをめぐる情勢の変化や災害、事故などさまざまな困難を乗り越え、安全な施設を目指して、運営協議会の他にもさまざまな委員会、協議会において市民参加で話し合ってきた新クリーンセンターの工場棟の完成と本稼働を、みんなでもに喜び分かち合う、なごやかな一日となりました。

オープン以来、イベント開催も増え、今年は環境フェスタもクリーンセンターで開催され、見学者は現在までに約1万人を超えています。

ごみ処理だけじゃない！新しいクリーンセンター

新しいクリーンセンターは、市民参加で議論を重ね、多くの市民にごみについて知ってもらうために、より開かれた施設になりました。

いつでもごみ処理工程を見学できるだけでなく、一年を通してさまざまな催しやしくみがあります。ぜひ、クリーンセンターでご覧ください。

屋上に
太陽光パネル

屋上の
ベジタブルガーデン
リサイクルガーデン

ベジタブルガーデン 生ごみの堆肥を使い、クリーンむさしのを推進する会のご協力で野菜を栽培し、収穫した野菜は催し物などでいただけます。

リサイクルガーデン ペットボトルキャップや古毛布などの廃材を埋め、市内の公園などの土に含まれる埋土種子が発芽し草地となる、粗放型の屋上緑化です。自然な植物の成長、昆虫や鳥などの様子を、観察していきます。見学希望の方は、事前にクリーンセンターにご連絡ください。

2階北のテラスは
野球場がよく見えます

1周でごみ処理の流れがわかる
2階見学者コース

エレベーター
この下にあります。

見学者コース入口



Pepperと
おしゃべりしよう
ロボットのPepperが、クリーンセンターのしくみを教えてください。

ソフトバンクロボティクス社のPepperを活用し、武蔵野市及び株式会社むさしのEサービスが独自に実施しているものです。

桜の季節はおすすめ
2階ガラス張りの
渡り廊下

赤ちゃん連れでも安心
2階に授乳室

2階ホール

大型モニターで、工場見学の説明のほか、講演会やミニコンサートにも利用されています。

夏には涼しい
エアミスト



市役所側の2階渡り廊下に設置されているエアミストが暑い季節に空気を潤します。テラコッタルーバーを濡らし、蒸散効果で涼しくなる物です。

交差点にデジタル掲示板
デジタルサイネージ



市役所と中央通りの交差点に設置されたデジタル掲示板。クリーンセンターで行われるさまざまな環境測定結果や発電量などが、毎日表示されます。この他に、市やクリーンセンターのイベント情報も見られるので、通りがかりに注目してください。

コミュニティスペース

エコマルシェなど、イベントに利用できます。今年環境フェスタも開催されました。



第1回エコマルシェのだるま作りワークショップより



6月にコミュニティスペースで行われた、第1回エコマルシェ

エコマルシェの開催

新しいクリーンセンターで、ごみ減量や環境にやさしい暮らしを、さまざまなアイデアで楽しみながら環境について考える機会を創り、発信するイベントを定期的に行う取組みとして、6月11日(日)、9月17日(日)、11月19日(日)と、クリーンセンターでエコマルシェが開かれました。

中央通りに面したコミュニティスペースで開催され、屋上菜園で収穫したじゃがいものふかし芋の試食、国産小麦のパンや焼き菓子、リターナブルびんによる飲み物販売などの飲食コーナー、古着やハギレを使ったリメイク雑貨、花苗、北欧の生活雑貨などの店が並びました。工場見学はもちろん、おなじみのおもちゃのかえっこ、古紙やハギレを使ったワークショップ、周辺まち歩きツアーなどの他、6月には2階ホールでオルガンコンサートも行われています。

9月は台風の影響で雨天のため、2階見学者コースの一角を会場にして、悪天候に関わらず200名もの来場がありました。11月は周辺地域住民の出店も増え、エコに関するブースもあり、クリーンセンターならではの催しです。

来場者の感想 (第1回エコマルシェより)

- 施設が開かれ、きれいなのでびっくり。ごみ発電やガスコージェネレーションなどを取り入れたり、エアカーテンで臭いが漏れないよう工夫されていて感心しました。
- 子どもには少し難しそうですが、クイズやロボットなど工夫もありました。何か体験できるものがあればと思いました。
- 工場見学と催しのタイアップはよかった。ごみをテーマに英会話教室などもおもしろいかも!
- かえっこやだるま作り、いろいろな売店など、なかなかの盛況でしたね!
- ごみピットで、ごみクレーンがごみをつかんで、混ぜるところがおもしろかった。
- 子どもが自然に学習できるものがあるといい。
- 子どもにもわかりやすい説明でした。

出店者の感想

○子どもたちが楽しんでくれ、うれしかったです。○布のハギレを使ったコサージュ作りに興味をもってもらえました。古着などを生かすワークショップが行う場所があるといいですね。古布の鍋敷きなどは、簡単なので広めていきたいです。

いつでも見学できます

開館時間内ならいつでも見学することができます。2階の見学者コースは、1周でごみ処理の流れがわかるようになっており、各コーナーに設置されたタッチパネルモニターで説明を聞くことができます。職員から直接説明してほしい方は、常駐のムーコンシェルに尋ねるか、事前にクリーンセンターにご連絡ください。

※見学できる日時：月曜～金曜 土日・祝日は休み
午前10時～午後5時

※団体見学の場：事前にクリーンセンターにお申込みください。
武蔵野クリーンセンター／電話 0422-54-1221